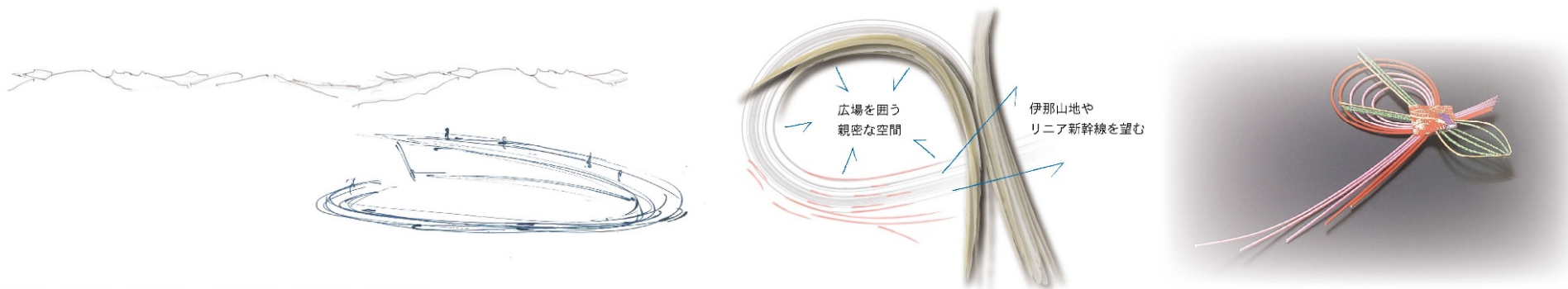


「結いの広場」を豊かにするコミュニティセンター

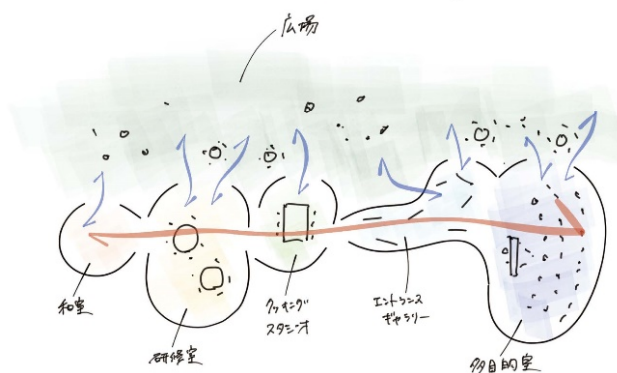
駅前広場の隅にただコミュニティセンターを計画するのではなく、コミュニティセンターにより駅前広場を豊かにし、広場との相乗効果でより魅力的な環境を整備することが重要となります。

そのためには「時を結う」「風景を結う」「暮らしを結う」「人々を結う」「地域を結う」といった結いの広場を目指してきた概念をコミュニティセンター整備においてもまた体現すること、すなわち地域の風景と結ばれ、広場に調和し地域の歴史文化を創造的に継承した独創的で美しい施設、そして地域住民やリニア駅前広場を訪れた多くの人々交流を促し、コミュニティ広場と一体となり賑わいを創出する施設を目指します。



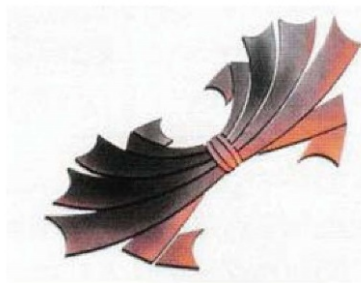
駅前広場と伊那谷の雄大な「風景を結う」

駅前広場の遊歩道が水引の結び目のように大きくコミュニティ広場を囲い、広場のアクティビティやイベントを眺める立ち見スペースになります。さらには伊那谷の雄大な山並みやリニア新幹線を眺める展望テラスとなります。空に向かって上り、周囲の景色や広場、リニア新幹線がシークエンシャルに展開することで、駅前広場を訪れた人々の空間体験は一層豊かなものになります。そして、展望テラスの下に広場管理棟とコミュニティセンターを整備することで、屋内屋外が一体となり人の出会いや賑わい（コミュニティ）を創出することを目指します。



「人を結う」空間の検討

コミュニティセンターの持つ機能が室ごとに完結することなく、また広場を含め利用者や活動が結びつけられ、交じり合う空間を構成します。



麻織会館の結製斗レリーフ



麻織竹青の会の法被デザイン



「人と人のつながりや絆」を意味する東根製斗文様

「結いの文化」と地域住民の助け合い

江戸時代より多くの大火を経験した飯田市において、活躍した座光寺村の「火消し」の象徴となった結製斗。「火消し」は地域の行事などコミュニティの原動力でもあり、結製斗には住民の団結や助け合いの意味も込められています。新たな施設もまた地域コミュニティの原動力なることが期待されます。

